

教科名		英語	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	東京書籍	開隆堂出版
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元も毎回同様のステップで進められ、見通しをもって学習に取り組むことができる。6年ではLet's Read and Writeが1単元に4か所ずつ配置され、読むこと、書くことに慣れ親しむことができる。音声から文字への流れを重視して各単元が構成されている。 ・別冊Picture Dictionaryで単語を容易に調べられる。 ・課題文の主語と動詞が色分けされ、英語の語順への意識付けになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭に学習内容を見通せるリスニング活動Let's Listenを置き、ゴールに学習内容を活用して表現活動を行うLet's Tryを置いて、英語表現を使った活動を段階的に行い、学習を進めることができる。 ・巻末に特設コーナー「文字に慣れよう」を置き、「読むこと」「書くこと」でつまづかないようにする工夫がある。 ・ペアやグループでの協同的・対話的な活動を数多く設定し、児童同士が教え合ったり、学び合ったりできるような工夫がされている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・3回のCheck Your Stepで、これまでに作成したコミュニケーションカードと既習の英語を使って表現し、学びを確かめられる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で友達同士で話し合えるようペアワークやグループワークを設け、児童の思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の英文に出ている単語にイラストや写真が付いており、視覚的にも理解しやすく配慮され、児童が内容を推測しながら学習に取り組めるよう工夫されている。 ・別冊資料「Picture Dictionary」がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページを1単位時間で進めるページ構成にして、その時間で何を学ぶか一目で分かるよう工夫されている。 ・巻末にアルファベットの練習ページがあり、大文字と小文字の形の違いなどにも触れながら練習できる。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・6年で「地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表する」ことを目標に、地球上に暮らす全ての生き物の棲む場所や食物連鎖を考えさせる学習がある。 ・6年でキャリア教育の視点で取り組む学習がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の衣食住など、国際理解に関する題材を扱う学習がある。 ・将来なりたい職業を考えるキャリア教育につながる活動がある。
使用上の 便宜 について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭に目標が示されている。 ・英語の音声、映像、歌・チャンツなどが、教科書各ページのQRコードから活用でき、言語活動を主体的に行える工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CAN-DOリストが各学年の冒頭見開きに示してある。また、単元の終わりに「ふりかえり」の欄を設け、児童自らが主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・英語の音声、映像、歌・チャンツなどが、教科書各ページのQRコードから活用できる工夫がある。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・Over the Horizonで、国の文化の違い、貧困などの国際的な課題を扱うなど、国際理解の学習につながる。情報量が豊富で児童の興味を高め学習に取り組ませる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切、友情、公平など道徳教育との関連や、国際理解などに関する題材を扱う学習がある。

教科名		英語	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	学校図書	三省堂
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元冒頭の3コマ漫画からイメージを膨らませ、推測しながら聞く・話す等の技能を習得させる工夫がある。 ・年間10回のAlphabet Cornerで、アルファベットの読み書きを繰り返し行い、定着を図る工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HOP(見通し)、STEP(習得)、JUMP(活用)の順序で大単元が構成され、学びのプロセスが分かりやすく示されている。 ・STEPでは1枚絵についてのListen&Talk、Word Chart、Sound Chant、Enjoy Reading、Write&Speakなどの活動を通して、話す・聞く活動を中心に文字と音のつながりに気付かせる工夫がある。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の場面が漫画形式で書かれている。児童が会話を聞きながら、その内容を考えやすいようになっている。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり書いたりするように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・STEPで、読むこと、話すことを中心に自分のことを伝え合う活動が設けられ、英語の運用能力を高める工夫がされている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に絵辞典や既習した表現を確認・復習するページがあるなどの工夫がある。ローマ字表が掲載され復習になる。 ・QRコードを配置し、英語の発音を自分で何度も聞くことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット表とキーボードの絵が掲載されており、タイピングの練習もできる。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元やコラムで、教科横断的な内容や異文化理解につながる内容が扱われている。 ・Word Cornerでオリンピック・パラリンピック、国際理解、キャリア教育につながる内容が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Storyでなじみのある物語を英語で味わい、児童に英語の世界への興味をもたせる工夫がある。多文化を尊重する態度を育めるよう「世界のあいさつ」「日本大発見」「英語が話されている国々」などの題材がある。 ・他教科との関連が図れるよう「この日本語どこから来たの」「Try世界の時差」などの題材がある。
B 使用上の 便宜につ いて	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に扉を設け、目標を示し、学習の見通しをもたせる工夫がある。 ・単元の導入で漫画形式のリスニング活動を行い、児童がイラストを参考にしながら、進んで考えて英語を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に1年間で学習した表現を並べて示し、児童が自分の学びをチェックできる工夫がある。 ・JUMPではSTEPで学んだことを生かして、実生活に結び付く場面を設定し、目的・場所・状況に応じて、思考力・判断力を働かせながら自己表現を行う活動がある。英語の音声、映像、歌・チャンツなどが、各ページのQRコードから活用できる。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムで様々な国の文化や英語に関する豆知識などが紹介され、英語学習や異文化理解への意欲を高める工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界のあいさつ」「日本大発見」「英語が話されている国々」などの多文化を尊重する態度を育む教材がある。

教科名		英語	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	教育出版	光村図書出版
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元に英語のインプットの活動や読み書きの活動が設けられ、単語・連語・慣用表現を繰り返し使用する場面を設け、定着を図れるように工夫されている。 会話の場面がイラストで示され、児童が会話を聞きながら、その内容を考えやすいようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> Hop～Step～Jumpでユニットを構成し、それぞれ1つの見開きで統一され、聞く活動→話す活動→読む活動→書く活動のスムーズステップを進める工夫がある。 巻末に絵辞典や学習した表現の確認のページが設けられている。繰り返し使えるアルファベット表が付録されている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションや言葉、文化について考える活動や、学習したことを活用して取り組むコミュニケーション活動を各単元で設けている。自分自身のことや自分たちの国の文化を伝えるための表現を身に付けることができる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> Eye Contact、Smile、Clear Voice、Responseのコミュニケーションを円滑にする4つの大切な要素を巻頭に示し、伝え合うときの態度や相づちの表現を確認できる工夫がある。 全単元にResponseコーナーを設け、相づちや聞き返す表現などを繰り返し学んで、コミュニケーションへの意識を高める工夫がされている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元にアルファベットや単語の練習ページがあり、似た形のものや、4線を意識して高さをそろえて書くものなどに注意して練習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使って活躍する人やオリンピック競技の紹介がある。「世界の友達」のページで様々な国の子供たちが紹介されており、外国の文化を学ぶことができる。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地図記号など他教科と関連させた内容や、日本や外国の文化、オリンピック・パラリンピック、キャリア教育などに関連した内容が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のWorld Tourコーナーで世界中の人々の文化や暮らし等について、映像を通して考え、議論できるよう工夫がある。
B 使用上の 便宜 について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に1年間の目標を示すとともに、各単元の終わりに振り返りコーナーを設け自己評価できるよう工夫されている。 英語の音声、映像、歌・チャンツなどが、目次ページの「まなびリンク」のQRコードから活用できる工夫がある。 巻末のシールやカードを活用し、学習を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> CAN-DOリストを各学年の冒頭に示すとともに、各単元の振り返りでCAN-DOが達成できたかを自己評価できるよう工夫されている。 英語の音声、映像、歌・チャンツなどが、教科書各ページのQRコードから活用できる。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本や外国の紹介、オリンピック・パラリンピックと関連させながら学習を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童にとってなじみのある話題や身近な話題について扱っている。国際理解につながる題材も多く取り入れられている。

教科名		英語	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	新興出版社啓林館	
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において、めあての確認の後、聞くことから段階的に学習を進め、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。 ・単語の意味をイメージしやすいように、図やイラストが多くある。 	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期末のREVIEWで既習事項を使って場面や状況に応じて考え、判断し、表現する活動の工夫がある。 ・ペアワーク・グループワークなどにより進めていく教材が多く設定され、コミュニケーション活動を行う中で、表現力を伸ばす工夫がされている。 	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット表とキーボードの絵が掲載され、タイピングの練習もできる。 	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解やキャリア教育につながる内容、他教科と関連させた内容などが設定されている。 	
B 使用上の 便宜 について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・扉にGOAL(全体のめあて)、Partごとのめあてとバロメーターが明示され、振り返りながら学習を進められるよう工夫がある。 ・巻末にCAN-DOリストを配置し、児童が自分の学びをチェックできる工夫がある。 	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元末のDid you know?で異文化の学びと理解につながるよう工夫がされている。 	